

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

- 「学び合い」「個性」「自立」
- 1 生きるための基本的な生活習慣・学力を身につける生徒を育てます。【知】
 - 2 自分のまわりの人とふれあい、お互いを大切にすることを育てます。【徳】
 - 3 自他の生命を尊重し、健康でたくましい体を育てます。【体】
 - 4 社会の一員として自覚をもち、自分の生き方を決められる生徒を育てます。【公】
 - 5 体験を通して自分を豊かにし、社会の変化に柔軟に対応できる生徒を育てます。【開】

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

コミュニケーション力
問題解決能力
社会貢献活動
危機管理意識

具体化した資質・能力

向上心をもって学び合う意識 個性を尊重し協力しあう態度
自立した言動と信頼し合える関係づくり 社会貢献の具体的な行動力

中期取組目標

- 誰もが安心して自分らしさを発揮し、居心地の良い温かい学校づくりを目指します。
- ・気持ちの良い挨拶や言語総力を育てることで、コミュニケーションの大切さを育てます。
 - ・個に応じた指導の充実とわかる授業の実践及び主体的に散り組む授業の工夫を目指します。
 - ・道徳教育を充実させ、他人を思いやる心や生命及び人権を尊重する心を育てます。
 - ・学校行事や部活動では、自ら目標を立て行動する力や粘り強く取り組む態度を育成し、心や体を鍛えます。
 - ・地域との連携を深め、発信力を上げ、信頼される開かれた学校づくりを進めます。

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①教科カリキュラムを作成・配布し、生徒・保護者への周知に努める。 ②3年生で数学の習熟度別授業、1、2年生で英語のTT授業、保体・理科も複数教師での指導を随時行う。 ③定期テスト前の放課後に学習相談を行う。④0校時を設定して基礎学習の時間を確保する。
担当	研究研修部学力向上係

学力向上に関わる本校の状況

○ 全学年教科書レベルの基本的な内容を理解できている生徒が多い。また授業への取り組みも前向きで、始業前には学習の準備を済ませている。昨年度から取組が始まった0校時(朝学習)にも落ち着いて取り組んでいる。

○ 全体的に規範意識が高く、あいさつなどもきちんとできる等、多くの生徒は規則正しい学校生活を送っている。

○ 地域と学校の関係は良好であり、学習ボランティア等の活用も行っている。しかし、具体的な場面では、まだ改善の余地がある。

○ 教員は、他教員の授業を見学する授業研究週間等の機会も積極的に活用し、生徒の興味・関心を高めることができるよう授業改善に取り組んでいる。

今年度の目標

わかる授業の実践を通して、基礎的な学力の向上を図る。

目標を実現するための具体的行動プラン

- | | |
|-----|--|
| 上半期 | ○個に応じた指導の充実
・少人数指導・習熟度別指導の推進し、より効果的な指導法をさらに研究します。
・教育相談を計画的に実施し、なおかつその機会を増やし、学習の方法や進め方など生徒の学習の支援を推進します。
・授業展開を工夫して、個に応じた教材作り等を推進します。 |
| 下半期 | ○「わかる授業」展開とその指導
・教員、保護者、生徒の三者による授業評価アンケートを実施し、授業改善を図ります。
・小中一貫カリキュラムの改善により9年間(7年間)を見通した授業展開をします。
○家庭学習の習慣化と学校・家庭の連携
・全教科で「言語活動の充実」に努めます。
・教科内で授業研究を進め、各教科で「わかる授業」についての研究協議を実施します。
・家庭学習方法の習得のための手引き書等の作成及び、その活用についての指導をします。
・地域人材の活用のためのシステムを構築します。 |

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①道徳では、自己を見つめて物事を広い視野から多面的・多角的に考える授業づくりをめざす。 ②生徒の発達段階に応じた平和学習や人権学習を行う。司書や国語科と連携しての読書の推進も行う。 ③学校の仲間、家族、地域の一員としての自覚を高め、社会で通用する規範意識の育成を行う。
担当	学習指導部道徳人権係

豊かな心に関わる本校の状況

あいさつを自分からする、友だちや家族との約束を守るなど、全体的に規範意識が高い。また、「自分にはよいところがある」と自己肯定感をもつ生徒が多い。生徒の多くは規律ある学校生活を送っている。学年が上がるにつれて、将来への夢や目標に不安を抱くようになり、他にも、他者との積極的な関わりを求めなくなる傾向がある。

今年度の目標

- ・全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・キャリア教育の充実を図り、体験活動を通して、思いやりの心・協力する心を育てる。
- ・家庭や地域との連携を図り、多くの人と関わることでコミュニケーション力を高める。

目標を実現するための具体的行動プラン

- | | |
|-----|--|
| 上半期 | ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を図り、体験活動を生かして指導を行う。
・「道徳の時間」の充実に努め、資料の活用について工夫する。 |
| 下半期 | ・職業講話や職場体験活動を通して、望ましい勤労観、職業観を育てる。また、自分の生き方について考える。
・職場体験活動を通して、コミュニケーション力、発表や表現力の育成を図る。
・職場体験に協力する事業所の拡充を行う。 |

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①学校保健委員会などで、自らの心身の健康や食育の観点からも自己管理のできる生徒の育成をめざす。 ②保体の授業には複数教員が入り、健康安全に努めながら、各自の体力向上への意欲を高める。 ③体育的行事や部活動、及び学校外の活動にも積極的に支援して、活気のある学校づくりをしていく。
担当	保健指導部・保健体育科

健やかな体に関わる本校の状況

田奈中学校 生徒の体育・健康面の姿

- ・男女ともに体格面は、全国平均とほぼ同じである。
- ・運動部への加入率は、全校生徒の約7割である。
- ・新体力テストの結果は、すべての種目において全学年ともに全国平均とほぼ同じである。

今年度の目標

- ◎学校行事や部活動では自ら目標を立て行動する力や粘り強く取り組む態度を育成し、心や体を鍛える。
- ◎心身の健康や体力の維持・増進を心がけ、それに向けての実践意欲や振り返る姿勢をもつ生徒を育てる。

目標を実現するための具体的行動プラン

- | | |
|-----|--|
| 上半期 | ・新体力テストを実施し、有効に活用する。
・単元ごとに新体力テストの種目を取り入れた 補強運動の実施を継続的に取り組み、体力向上を目指す。
・体育祭では日頃の体育活動を通して身に付けた体力、技能を総合的に発表する。
・家庭科では食文化において、栄養素や水の大切さを学び、献立作成などに生かし、健康な体作りを目指す。 |
| 下半期 | ・授業開始時におけるランニングと長距離走へ向けて取り組む。
・球技大会では大会を通して学年内の連帯感を高め、フェアプレイの精神を養い、心身を鍛える。
・保健委員会では感染症予防のために、石けんの補充や、石けんを使った手洗い、うがいの呼びかけを行う。また、学校保健委員会では生徒の心身の健康面での課題を改善する取り組みを行い、保健だより等を発行し情報を発信する。 |